

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年6月11日 11時00分ごろ
発生場所	沖縄県石垣市野底 ^{のぞこ} 埼北東方沖 平久保 ^{ひらくぼ} 埼灯台から真方位215° 7.3海里付近 (概位 北緯24° 30.6′ 東経124° 14.3′)
事故の概要	プレジャーボートきなこ丸は、揚錨作業中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年6月12日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート きなこ丸、5トン未満（長さ4.59m）
船舶番号、船舶所有者等	296-9929 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船外機等に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約4.6m/s、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の中央期、水温 約28℃
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、野底埼北東方沖で船首から錨索（合成繊維製、直径約7～10mm）約50～70mを伸出し、船首を南西方に向けて錨泊していた。</p> <p>本船は、魚釣りを終えて帰港することとし、錨を引き揚げようと低速で錨の投入場所に近づいていたところ、右舷側から波が船内に打ち込み、右舷側に傾斜して転覆した。</p> <p>船長及び同乗者は、転覆する際に海に飛び込み、泳いで転覆した本船の船底に乗り、船長が防水パックに入れていた携帯電話で海上保安庁に救助を要請した。</p> <p>船長及び同乗者は、来援した水上オートバイに救助され、石垣市船越漁港に運ばれた。</p> <p>本船は、野底埼北北東方沖の干出浜（さんご礁）に乗り揚げていたところ、巡視艇によって船固めが行われた後、引船に引き出され、石垣港にえい航された。</p> <p>船長及び同乗者は、本事故当時、共に救命胴衣を着用しており、船長が右舷船尾で操縦し、同乗者が船体前部の右舷寄り錨索を引き揚げていた。</p> <p>本船は、和船型で船外機を備えており、水面から船体中央部のブルワーク上面までの高さが約45cmであった。</p> <p>船体中央の2か所の生簀^{いけす}は、本事故当時、半分以下の海水を入れた</p>

	<p>状態で船底栓を閉めていたが、蓋を開けていた。</p> <p>船長は、干出浜が近くにあったので、波が高くなったのではないかと本事故後に思った。</p> <p>海図W1206（八重山列島）によれば、野底埼西方沖から同埼北東方沖にかけて干出浜が広がっている。</p>
分析	<p>本船は、野底埼北東方沖で揚錨作業中、右舷側から波高約1mの波が船内に打ち込んだことから、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p> <p>本船は、波が船内に打ち込んだ際、船長が右舷船尾に、同乗者が船体前部の右舷寄りにいたことから、右舷側に傾斜したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、野底埼北東方沖で揚錨作業中、右舷側から波高約1mの波が船内に打ち込んだため、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水深が浅い海域では、波が高くなることがあるので、波の状況に注意すること。 ・小型の和船等に複数人で乗船する際は、左右のバランスをとるよう心掛けることが望ましい。